



「第64回土曜講座」武蔵大学・大学同窓会 共催
 「生活と創造・地方と東京～私が無意識に握っていたもの～」と
 「台頭する女性指揮者たち～当世音楽事情異聞～」
 をテーマに講座を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）は、大学同窓会と共催で、一般及び同窓生を対象とした第64回土曜講座を7月1日（土）に開催します。講座は2部構成で、第1部は劇作家の守安 久二子氏（第32回人文学部日本文化学科卒）を講師に迎え、戯曲を書くに至った経緯や幼児期から無意識に握っていたものなどについて語ります。第2部は光野 正幸（本学名誉教授）が講演を行い、国際的に第一線で活躍する二人の女性指揮者を採りあげ、「現代オーケストラ事情」を論じます。参加費は無料、どなたでも受講できます。

武蔵大学「第64回土曜講座」概要

■日時：2023年7月1日（土）14：00～16：00

【第1部】（14：10～15：00）

生活と創造・地方と東京～私が無意識に握っていたもの～

講師：守安 久二子（第32回人文学部日本文化学科卒、劇作家）

『草の家』で第1回 TOON 戯曲賞大賞・観客賞受賞

『鮭なら死んでるひよこたち』で第21回AAF戯曲賞（愛知県芸術劇場主催）大賞受賞

【第2部】（15：10～16：00）

台頭する女性指揮者たち～当世音楽事情異聞～

講師：光野 正幸（本学名誉教授）

■場所：武蔵大学 8号館 7階 8702 教室（本講座は来場のみ）

■定員：来場 100名

※事前予約制（先着申込順）定員に達し次第締め切らせていただきます

■受講料：無料（どなたでも受講できます）

■申込締切：2023年6月21日（水）

■お申込み・講座に関するお問い合わせ

（株）武蔵エンタープライズ 土曜講座受付係

TEL：03-5984-3785 FAX：03-5984-3787

メール：direct@634.co.jp

Webサイト：<https://web.634.co.jp/>

武蔵大学・大学同窓会共催 武蔵大学 第64回土曜講座
 2023年
受講料 無料
7月1日（土） 14時～16時
8号館7階 8702教室

第1部 生活と創造・地方と東京
 ～私が無意識に握っていたもの～
 守安 久二子（第32回人文学部日本文化学科卒、劇作家）
 『草の家』で第1回TOON戯曲賞大賞・観客賞受賞
 『鮭なら死んでるひよこたち』で第21回AAF戯曲賞（愛知県芸術劇場主催）大賞受賞
 若くから劇の執筆は得意がなかったのではないかと思います。まさかな身体から湧きあがった感情や無意識のうちに本当の自分らしいように感じることからです。年を重ねるごとに言葉、色んなことを覚えました。書いたり、表紙することへの恐れも長くなりました。私に戯曲を書かせてくれたのは、余裕のない日々にとりまわって来た幼児性だと思います。子供の頃から、不思議と体の中に湧きあがっていた小さい小さい湧き出し、捨てずに生きてきたよかったです。評価して頂いた二つの作品の紹介と、私がこの歳で戯曲を書くことになった経緯をお伝えしながら人生100年時代を生き抜くために必要な術を皆さんと探ることが出来たらと思っています。

第2部 台頭する女性指揮者たち～当世音楽事情異聞～
 光野 正幸（本学名誉教授）
 今年5月に日本でもロードショー公開された映画「TAR/ター」（トッド・フィールド監督）でケイト・ブランシェットが演じるヒロインは、「アメリカの5大オーケストラで指揮者を務めた後、ベルリンフィルの首席指揮者に就任。7年を経た今も変わらず活躍している、という設定になっていました。演劇にはこんな指揮者は「男女を問わず」存在しませんし、今後もあられることはないでしょう。しかし、それでも、シニアワーマンと呼ばれる現代においては、国際的に第一線で活躍する女性指揮者がめざましい勢いで増えつつあるように思えます。好例として沖澤のどか（1987年生まれ、2022年4月より京都市交響楽団常任指揮者）とオクサーナ・リニフ（1978年ウクライナ生まれ、2022年1月よりロニーニャ市立交響楽団常任指揮者）の二人を採りあげ、「現代オーケストラ事情」を論じます。

■本講座は先着予約制です。（先着申込順、6月21日（水）締切）

〈お申込み先〉（株）武蔵エンタープライズ

<https://web.634.co.jp/>
 E-mail: kouza@musashi.ac.jp
 FAX: 03-5984-3787

■お問合せ先
 TEL: 03-5984-3785

※お申込みの際は同窓会事務局まで申し込みください。
 同窓会事務局 TEL: 03-3991-2623



—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開校、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開校し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

